令和６年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
地理歴史	歴史総合	２	１－１～１－Ａ

１．学習の到達目標

１．近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、 現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について理解をはかる。
２．諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を養う。
３．グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。
４．歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明 できる能力を基に議論する力を養う。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	第Ⅰ編 近代化と私たち 第１章 結びつく世界と日本の開国 第２章 国民国家と明治維新	・18 世紀における東アジアの社会と経済の特徴を考察させると共に、同時期にヨーロッパ各国がアジアに進出し、世界的な規模で経済が発展していったことを理解させる。 ・産業革命にいたるヨーロッパ経済の大きな流れを理 解させる。 ・各国の革命の特徴について理解させる。 ・新政府の国家方針を理解し、政策の歴史的意義を考察させる。また、大日本帝国憲法の成立過程をふまえ、憲法の内容を理解し、その特徴を考察させる。 ・明治維新後、日本の対外関係について考察させる。
２学期	第Ⅱ編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第３章 総力戦と社会運動 第４章 経済危機と第二次世界大戦	・バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第 一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察 させる。 ・第一次大戦後の各国の社会や経済、日本の社会運動や文化の変容について理解させる。 ・第二次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察させる。 ・第二次世界大戦後の国際社会が、どのようにして新 たな国際秩序を構築したかを理解させる。 ・日本国憲法の制定過程を理解し、その特徴について 考察させる。
３学期	第Ⅲ編 グローバル化と私たち 第５章 冷戦と世界経済 第６章 世界秩序の変容と日本	・西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理 解させる。 ・高度経済成長の契機となる特需景気を理解し、その 後の経済成長がどのように展開するか考察させる。 ・グローバル化がもたらす問題について、原因を考察し、どのように対応していけばよいかを理解させる。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期試験（中間・期末） 平常点（ノート提出、授業態度）による。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる 事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。	近現代の歴史の変化に関わる 諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする 態度を養うとともに、多面的・ 多角的な考察や深い理解する態度を身に付けている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える （山川出版社）
副　教　材	現代の歴史総合 みる・読みとく・考えるノート （山川出版社）